

ふれあい精神

心を察し、心をこめて、心を伝える。
心を開き、心にふれる。



社会福祉法人 群生会

医療法人恵心会は昭和55年10月1日に、“心”に恵まれる会、つまり、おもいやりの心、やさしい心が満ちる会という意味を持って生まれました。そしてその10年後の平成8年に、その意に沿った人たちが群れをなして集まり人のため世のためお役に立たせて頂きたいという趣旨で、社会福祉法人群生会が誕生しました。

地域に根ざした医療と介護と福祉を目指し、
『ふれあい精神～心を察し、心を込めて、心を伝える～ ～心を開き、心にふれる～』を根底に日々邁進して参りました。この仕事に携わることができることに感謝と喜び、生きがいを感じ致します。

どのように世の中が変わろうとも、人間が生存する限り必要不可欠な医療と福祉。未曾有の高齢社会に突入するにあたり、これからも『ふれあい精神』を信念として、医療と福祉に貢献を目指す職員と共に、理想の福祉を掲げて実践し続けて参る所存です。

私たちには、この群生会と恵心会がある限り、社会に貢献を続け世の為人の為にお役に立つ使命があるのです。

社会福祉法人 群生会
理事長 村井 吉太郎
常務理事 村井 恵子

経営理念

1. 高齢者の為の包括医療福祉を、地域に貢献する。
2. 心の“ふれあい”を根底に、利用者とのコミュニケーションを大切に、職員が明るく生きがいのある職場づくりをし、社会還元に努める。
3. 利用者満足を常に考え、愛され信頼される医療福祉づくりをする。
4. 一度訪れた方が、《もう一度行ってみたい》と思っただけの医院・施設づくり。
5. ご利用者様本位・主体の考え方。

